



べんとう  
お弁当

×

きおく  
おいしい記憶

じゅしょうさくひんしうう  
受賞作品集

京都編



(株)共同通信社

## 「お弁当 × おいしい記憶のエピソード募集」 実施要項（京都）

- 募集作品 お弁当にまつわるエピソード 絵または写真 + 作文 (200-600 文字程度)
- テーマ
  - A 誰かのために作ったお弁当
  - B 誰かのために作ってあげたいお弁当（実際に作っていないても可）
  - C お弁当の思い出 のいずれか 1 つ
- 対象 京都府内の 小中学生
- 募集期間 2018年8月15日（水）～2019年1月8日（火）必着
- 応募方法 チラシ・HPより応募フォームダウンロード の上郵送  
送付先 〒105-7208 東京都港区汐留メディアタワー(株)共同通信社エピソード募集係
- 主催 株式会社共同通信社
- 後援 京都府・京都新聞・特定非営利活動法人日本料理アカデミー
- 協賛 キッコーマン株式会社
- 賞 キッコーマン賞 小学生の部 1名 1万円図書券 + 副賞  
共同通信社賞 中学生の部 1名 1万円図書券 + 副賞  
京都新聞賞 1名 1万円図書券 + 副賞  
学校賞 1校 2万円図書券  
特別賞 5名程度 5000円図書券
- 審査委員（敬称略 50音順）
  - 大津山 厚 キッコーマン(株) 執行役員 経営企画室コーポレート政策推進担当部長
  - 下尾 芳樹 京都新聞社 東京支社長
  - 園部 晋吾 山ばな平八茶屋 若主人（特定非営利活動法人日本料理アカデミー地域食育委員長）
  - 竹下 和男 弁当の日提唱者
  - 中澤 弥子 長野県立大学健康発達学部食健康学科 教授
  - 幅 浩一 (株)共同通信社 取締役

京都府応募総数 326 作品

## お弁当 × おいしい記憶エピソード 受賞決定作品

## キッコーマン賞

氏名 松本 夏音（まつもと かのん）

題名 いそがしい両親に作ってあげたいお弁当

学校名 南丹市立園部第二小学校 6年

## 共同通信社賞

氏名 藤尾 悠汰（ふじお ゆうた）

題名 おばあちゃんありがとう

学校名 京都市立蜂ヶ岡中学校 3年

## 京都新聞賞

氏名 苗村 真佑（なえむら まゆ）

題名 テスト弁当

学校名 京都市立高雄小学校 5年

## 学校賞（京都府）

学校名 京都市立砂川小学校

## 特別賞

氏名 安部 こころ（あべ こころ）

題名 幸せ弁当

学校名 京都市立下鴨小学校 3年

氏名 竹内 志帆（たけうち しほ）

題名 お弁当の思い出

学校名 京都市立祥豊小学校 6年

氏名 ポンド 寿莉亜（ぽんど じゅりあ）

題名 大きな一歩をくれたあの日

学校名 京都市立蜂ヶ岡中学校 3年

氏名 石橋 咲（いしばし さき）

題名 かわいい

学校名 京都市立蜂ヶ岡中学校 3年

氏名 碓井 志音（うすい しおん）

題名 心温まるなつかしの味

学校名 平安女学院中学校 1年

キッコーマン  
賞



キッコーマン賞

松本 夏音

南丹市立園部第二小学校 6年

いそがしい両親に作ってあげたいお弁当

私の父と母は毎日とてもいそがしいです。なので朝食を済ませた後にすぐに家を出て、昼食はコンビニ弁当だそうです。私は昼食をコンビニ弁当で済ませている両親がとても心配でした。両親はこんなにいそがしいのにゆっくり給食を食べている自分がいやになりました。仕事だからしょうがないのかもしれないけど、昼食ぐらいは心のこもった物を食べさせてあげたいと思いました。

後日、私は早起きしました。なぜなら両親にお弁当を作るためです。一週間程前、「お弁当の日」の取組をして、お弁当が自分で作れるようになりました。だからその力で両親にもお弁当を作つてあげようと思いました。パクッと食べやすいサンドイッチを作りました。朝、母たちが起きるとおどろいていました。「これ夏音が作ったの?」と聞いて私がうなづくと「ありがとう」ととてもほめてくれました。「お弁当の日」の取組のおかげでこんなことが出来たので、この学校にそんな取組があつて良かったと思いました。

共同通信社  
賞



共同通信社賞

藤尾 悠汰

京都市立蜂ヶ岡中学校 3年

おばあちゃんありがとう

このお弁当は、今年の敬老の日に祖母に感謝の気持ちを込めて作ったものです。

小さい頃、食べ物の好き嫌いが多かった僕は、祖母が時々作ってくれるお弁当が嫌でした。母は僕の好むおかずを詰めてくれましたが、祖母は栄養のバランスを考え、苦手なおかずを必ず一品入れていたからです。でも、空のお弁当箱を持ち帰って、喜んでくれる顔が見たくて、お茶で飲みこんだりして一生懸命食べていました。するといつのまにか好き嫌いがなくなっていました。これは祖母の作ってくれたお弁当のおかげだと思います。

僕の作ったお弁当を喜んでおいしそうに食べててくれたので、僕もとても嬉しくなりました。お弁当はただ食べるためのものではなく、人を幸せにできるものだと思いました。「おばあちゃん、本当にありがとう」

京都新聞  
賞



### 京都新聞賞

苗村 真佑

京都市立高雄小学校 5年

### テスト弁当

いつも勉強ばかりのお兄ちゃん。毎回、テスト前になるとあまりご飯を食べなくなります。私は、そんなお兄ちゃんのために、栄養のバランスが良く、記憶力や集中力を良くするお弁当を作つてあげたいなと思います。

お弁当の中には、難しい数学の問題ばかり解いているお兄ちゃんのために集中力を高めるたまごを使った卵焼きを入れます。卵焼きは、砂糖を多めに入れて甘くし、しらすといっしょに焼きます。そして、大好きながらあげを入れます。とり肉は、タンパク質が豊富なので、大きくなりたいと思っているお兄ちゃんにぴったりです。体の調子を整えるじゃがいもときゅうりで作ったポテトサラダ。ビタミンが多くふくまれているグレープフルーツをデザートにします。11月、秋らしく、くりご飯。音楽が好きなお兄ちゃんに季節を感じてもらって、感性を豊かにしてあげたいです。仕上げに近くにある高雄のもみじを型どつたのりを上に飾つて、できあがりです。

早く作つておどろかせたいなと思います。

特別賞



### 特別賞

安部 こころ

京都市立下鴨小学校 3年

### 幸せべん当

私には、おべん当に幸せな思い出があります。ようち園の時に、大文字山を走ってのぼり、ハツとおべん当の事がつぶれていないかとても心配しました。とうとう、おべん当の時間が来ました。おべん当箱のふたを開けると・・・、ほっこりしたごはんにかりっとあげてあるからあげなどが入っていました。「よくかんばって登ったね。」とメモが入っていました。この時から、私はお母さんに作ってもらったおべん当を「幸せべん当」とよびました。

お母さんが、がんばって作ってくれたおべん当はさい高においしかったです。私は、いつもがんばってくれているお母さんがねつを出したりしたら、目玉やきやたまごかけごはんなどを作ります。お母さんの「幸せべん当」みたいに、食べたら幸せになるような思いをこめて作ります。一回目は、「しょう油が少ない。」とか「もっと温めて。」などと、注意されましたが、何度も作っていると「おいしくなって来たよ。」とか「ベテランだね。」と言われるようになりました。

それから、ママの「幸せべん当」は私のエネルギーに、私のごはんはママのエネルギーになって行きました。今になっても、しょう軍づかなど遠足の時は、色とりどりの「幸せべん当」を食べるのが樂しみです。えいようを気にかけてくれる母の「幸せべん当」は、名の通り、食べた時には幸せになれます。

特別賞



### 特別賞

竹内 志帆

京都市立祥豊小学校 6年

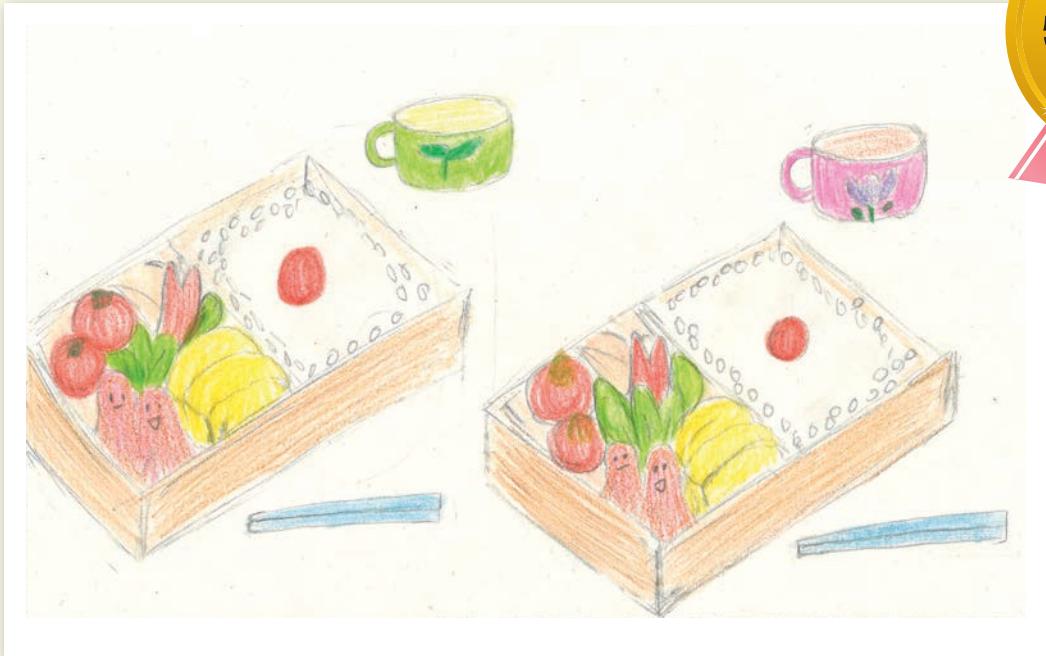
### お弁当の思い出

私のお弁当の思い出といえば、ようち園では毎日、小学校では、遠足や運動会の時に持つて行った、お母さんが作ってくれたお弁当。

生まれつき食物アレルギーを持っている私のためにいつも乳製品、卵、ほうれん草の入っていない物を作ってくれました。お弁当の一番の卵焼などは食べられないので、かわりにいろいろとりどりの野菜をたくさん入れてくれました。最近、毎日お母さんが作っている食事を見ていると、自分も作りたくなって、よく手伝ようになりました。今回、このようなお弁当を作る機会をいただいて、お母さんが作ってくれたお弁当の中でおいしかったかぼちゃの甘辛揚げ、オリーブオイルと塩味のブロッコリー、そして最近私が家族に作って喜んでもらえたトマトの豚肉巻きを作りました。お弁当は栄養と愛情のつまつた宝石箱のようです。

中学になると、お弁当を持っていく機会があれば、自分で作れる日は、自分で作りたいと思っています。そしてまた、私がお母さんになったら、同じような栄養と愛情のつまつたお弁当を作つてあげたいです。

特別賞



特別賞

ポンド 寿莉亜

京都市立蜂ヶ岡中学校 3年

大きな一歩をくれたあの日

これは私が小学5年生のときの話です。

私は5年生になり、京都に引っ越ししてきました。始業式では今まで感じしたことのない不安と辛さで必死で涙をこらえていたのを今でも覚えています。そんな気持ちで帰って来た私にお母さんは、「今日のお昼一緒にお弁当作ろっか」と言って来ました。

なれないキッチンで作り始めたお弁当。でも作っている間は今日の不安のこともさっぱり忘れてお弁当を作るのに夢中になっていました。今思うと、お母さんは分かってくれていたんだと思いました。何も言わなくても辛かったこと、大変だったことも全部分かってくれていたんだと。だから小さい時からよく一緒に作っていたお弁当と一緒に作ろうと言ったのも。出来あがったのは私と妹の二人分。家族で遊びに行くときには必ず作っていた手作りのお弁当は暖かくて不安も悲しみも全部すいとってくれているような気がしました。

今でも悲しい時辛い時、あの日のことを思い出します。あの時一緒にお弁当を作らなかつたら、私は明日から学校に行きたくないと言ってたかもしれないし、ただの辛い思い出になっていたかもしれません。そう思うとあの日お母さんと一緒に作ったお弁当に大きな一歩をふみだす勇気をもらっていたんだと思いました。今では毎日楽しく学校に行っています。

特別賞



特別賞

石橋 咲

京都市立蜂ヶ岡中学校 3年

かわいい

「お弁当、かわいくないね。」

この一言に私はひどく傷つき、気づいた。

「私のお弁当は可愛くない。」ということに。

みなさん、キャラ弁という物はご存知だろうか？  
様々な具材を使って、キャラクターなどをお弁当に作ってもらうというのだ。私の保育園時代はこのキャラ弁がとても流行った。しかし、周りの友達はキャラ弁なのに、私だけお肉だらけの茶色いお弁当だった。

みんなキャラ弁なのに、なんで私だけ・・・。ひどい劣等感に襲われ、落ち込みながら家に帰った。「かわいくない」、その一言は私ではなく、母を傷つけているような気がして、もっと悲しくなって、怒りが芽生え、家に帰って母の顔を見ると、なぜか涙が溢れていた。何も言い返せなくて、ごめんね、ごめんねって泣いている私は、母が大好きだったのだ。

次の日、目を腫らした私にまたお弁当の時間が

やってきた。おそるおそるお弁当のふたを開くと、そこには可愛く笑うパンダがいた。人一倍不器用な母が作ってくれた、パンダのキャラ弁。きっと、もっと可愛くて豪華なお弁当はいくらでもあるだろう。しかし、その時、その瞬間、母が作ってくれたパンダのお弁当が世界で一番すてきなお弁当だった。私は、たくさんありがとうございますと言って、抱きしめたい気分になった。大好きだと伝えたくなった。

「お弁当、かわいくないね。」と言ったこの少女は悪気があったわけではないと思う。しかし、どうか気づいてほしい。自分たちより早起きして、必死にお弁当を作ってくれている家族の存在を。冷凍食品ばかりだと嘆くそこのあなた。この冷凍食品は美味しいかな？と悩みながら買っている家族の存在を、冷凍食品の先の愛を気づいてください。

お弁当ほど愛のつまったものはない。そしてそのことに気づくことが大切だと私は思う。

特別賞



特別賞

碓井 志音

平安女学院中学校 1年

心温まるなつかしの味

私は自分たちでつくった新米で心をこめておにぎりをつくりました。入れた具はこんぶです。お茶わんにごはんを入れて食べてもおいしいけれど、おにぎりにして食べた方が人の心の暖かさが伝わってくるようで、もっとおいしくなります。なんだかしょっぱかったけれどお米がとっても甘くてホカホカでおいしかったです。

私がこのおにぎりを誰に食べてほしいかというと父のお母さんです。腰を悪くしてあまりたきたてのおいしいお米を食べられていないと思うので、私は温かくて甘くておいしいおにぎりを今度おばあちゃん家にいった時愛情を込めてつくりたいです。

